

## 第66回国立大学法人筑波技術大学経営協議会議事要旨

I 日 時 平成30年4月23日(月) 14:00~16:00

II 場 所 天久保キャンパス管理棟大会議室

### III 出席者等

- ・出席者 大越教夫(議長)、石塚和重、石原保志、川村恒明、北原保雄、佐藤正幸、竹下義樹、谷川彰英、内藤一郎、廣瀬寛、森戸久雄、横山儀八、四日市章(五十音順・職名略)
- ・陪席者 大島慎子監事
- ・事務局 山末企画課長、小山財務課長、小暮聴覚障害系支援課長、廣瀬視覚障害系支援課長 他4名

議事に先立ち、議長から、平成30年4月1日付けで就任した横山理事の紹介があり、引き続き、同理事から就任の挨拶があった

### IV 議 事

(主な質疑応答 ○:学外委員、●:本学 以下同じ)

#### 1 前回議事要旨の確認について

議長から資料1により説明があり、案のとおり確認された。

#### 2 審議事項

##### (1) その他

#### 3 報告事項

##### (1) 役付職員・各室長および委員会委員長について

事務局から資料2により説明があった。

##### (2) 平成29年度学長裁量経費の執行実績について

事務局から資料3により説明があった。

○ 学長裁量経費Cが他の経費区分と比較して支出額が少ないのはなぜか。

● 国際的な論文に関して、インパクトファクター(文献引用影響率)が一定の値を超えたものについて、論文の発信や著書の発行に補助を行っている。しかし平成29年度はその値を超える論文があまり出なかったために、結果として少額の支出となった。今後も教員に対しての周知・募集を続けていく。

##### (3) 平成29年度国家試験合格状況について

事務局から資料4により説明があった。

○ 合格率が全国平均を下回ってしまった今回の国家試験の結果を分析し、合格者を増やすための体制づくりを検討してほしい。

- 鍼灸学専攻では、今後、個別指導や模擬試験を増やすことを検討している。専攻長を中心に教育体制を整えていきたい。

(4) 平成29年度卒業・修了生の進路状況について

事務局から資料5により説明があった。

- 保健科学部で20名中13名就職しているが、残りの7名の状況を教えてほしい。
- 就職活動中が5名、内定先との交渉中が1名、在宅ワークの者が1名である。
- 他の大学院・特別支援学校に進学している卒業生の詳細を教えてください。
- 教職課程を修了した学生が特別支援学校の免許状を取るために他の大学院に進学した。また保健科学部の鍼灸学科を卒業した学生が、新たに理学療法士の資格を取るために特別支援学校に進学している。
- 過去の卒業生も含めて、職場への定着率の調査をしてほしい。
- 現在、平成29年度の卒業生が就職した事業所に対して、現時点での職場在籍の有無と配属先について調査を行っている。

(5) 平成30年度学部の入試及び入学状況について

事務局から資料6により説明があった。

(6) 平成30年度大学院技術科学研究科入学状況について

事務局から資料7により説明があった。

(7) 平成29年度見学訪問者について

事務局から資料8により説明があった。

(8) 平成29年度経営協議会学外委員からいただいた意見の反映状況について

事務局から資料9により説明があった。

以上